

# 令和元年度 学校自己評価 達成及び取組状況アンケート

## 評価基準

適切… 4      ほぼ適切… 3      やや不適切… 2      不適切… 1

### (1) 教育理念・目標

| 評価項目 |                                      | 評点  |
|------|--------------------------------------|-----|
| 1    | 本校の理念・目的・育成人材像は定められているか              | 3.8 |
| 2    | 介護福祉士養成校としての特色を出しているか                | 3.8 |
| 3    | 社会・経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか         | 3.0 |
| 4    | 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか | 3.2 |

#### ① 課題

- ・介護福祉分野において人材確保は大きな課題であり、養成校には日本人だけでなく外国人人材の育成も求められているが、上手く機能していない。
- ・学校の理念などについて、ホームページ等で情報公開をしているが工夫が必要である。
- ・介護福祉分野の社会的ニーズの分析や15歳未満人口の状況、福祉を希望する生徒数の把握など様々なデータを分析し今後の方向性を検討することが出来ていない。

#### ② 改善方法

- ・アドミッションポリシーやディプロマポリシーに基づき入学者選考を厳格化する。
- ・ホームページのリニューアルなど時代に合った情報発信を行う。
- ・情報収集を行い学校内で検討し方向性を共有する。

### (2) 学校運営

| 評価項目 |                                  | 評点  |
|------|----------------------------------|-----|
| 5    | 学校運営方針は明確に定められ、教職員に明示されているか      | 3.5 |
| 6    | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか            | 3.2 |
| 7    | 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか       | 3.0 |
| 8    | 人事・給与に関する制度は、整備されているか            | 3.0 |
| 9    | 介護業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3.0 |
| 10   | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか          | 3.8 |
| 11   | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか        | 2.5 |

#### ① 課題

- ・情報システム化されておらず、業務効率が悪い。
- ・慣例処理が多く業務が継続的に処理されないことが多々ある。

## ② 改善方法

- ・ 目標管理制度を導入し業務の目的目標を明確にして業務改善に努める。
- ・ 法人内で業務手順の整合性を図り、業務対応マニュアル等文書で保存する。
- ・ 会議運営を見直すとともに業務分掌の明確化を図る。

## (3) 教育活動

|    | 評価項目  | 評点  |
|----|---|-----|
| 12 | 教育目標等に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか                              | 3.3 |
| 13 | 教育目標、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか    | 3.8 |
| 14 | カリキュラムは体系的に編成されているか   | 3.7 |
| 15 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか          | 3.5 |
| 16 | 介護分野における関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか           | 3.5 |
| 17 | 介護分野における施設実習が体系的に位置づけられているか                                 | 3.2 |
| 18 | 授業評価の実施・評価体制はあるか  | 3.3 |
| 19 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                              | 3.7 |
| 20 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                        | 3.0 |
| 21 | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか                     | 3.2 |
| 22 | 介護分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか               | 3.2 |
| 23 | 介護分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか | 3.0 |
| 24 | 教員の能力開発のための研修等が行われているか                                      | 2.8 |

## ① 課題

- ・ カリキュラムの体系化が出来ていないため科目間連携がなされていない。
- ・ 医療的ケア等の実技科目の演習が効果的・効率的に行われていない。
- ・ 教員の研修・研究の時間が確保できていない。

## ② 改善方法

- ・ カリキュラム改正と同時に科目間連携のシステム化を図る。
- ・ 実技科目の演習方法を検討し教育内容の充実を図る。
- ・ 研修体制を構築し、学校として求める能力開発を示していく

#### (4) 学修成果

| 評価項目 |  | 評点  |
|------|--|-----|
| 25   | 高い就職率が維持されているか                         | 4.0 |
| 26   | 卒業試験、各種資格試験取得率の向上が図られているか              | 2.8 |
| 27   | 退学率の低減が図られているか                         | 2.7 |
| 28   | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか             | 2.5 |
| 29   | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか | 2.5 |

##### ① 課題

- ・ 国家試験合格率が養成校平均であり目標値に達していない
- ・ その他の資格取得が低下している
- ・ 卒業生の現況把握が不十分である

##### ② 改善方法

- ・ 国家試験対策講座及び授業以外での対策強化
- ・ 国家試験受験を考慮し実習時期の見直しなど学年暦の変更を検討する
- ・ 学生に対し情報提供を行い在学中の資格取得を促す
- ・ 同窓会と協力して卒業生の追跡調査を実施する

#### (5) 学生支援

| 評価項目 |  | 評点  |
|------|--|-----|
| 30   | 進路・就職に関する支援体制は、整備されているか                | 3.2 |
| 31   | 学生相談に関する体制は、整備されているか                   | 3.0 |
| 32   | 学生に対する経済的な支援体制は、整備されているか               | 3.0 |
| 33   | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                     | 2.7 |
| 34   | 課外活動に対する支援体制は、整備されているか                 | 3.0 |
| 35   | 保護者と適切に連携しているか                         | 2.8 |
| 36   | 卒業生への支援体制はあるか                          | 3.2 |
| 37   | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか              | 2.7 |
| 38   | 高校・高等専修学校との連携によるキャリア・職業教育の取り組みが行われているか | 2.5 |

##### ① 課題

- ・ 高校生等に対する職業教育体制が構築されていない

##### ② 改善方法

- ・ 近隣の高校との関係を築き職業教育の取り組みを進める

## (6) 教育環境

|    | 評価項目                              | 評点  |
|----|-----------------------------------|-----|
| 39 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか  | 3.3 |
| 40 | 学外研修、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか | 3.2 |
| 41 | 防災に対する体制は、整備されているか                | 2.7 |

### ① 課題

- ・ IOT や ICT を取り入れた教育環境の整備がされていない

### ② 改善方法

- ・ 計画的な設備投資やレンタルなどの検討を行う
- ・ 事業所等と連携し最新の情報提供を行う

## (7) 学生の受け入れ募集

|    | 評価項目                                 | 評点  |
|----|--------------------------------------|-----|
| 42 | 学生募集活動は、適正に行われているか                   | 2.7 |
| 43 | 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 3.5 |
| 44 | 学納金は、妥当なものとなっているか                    | 3.5 |

### ① 課題

- ・ 現状に則した学生募集活動が行われていない
- ・ 入学金及び学費の期日納付が困難な家庭がある

### ② 改善方法

- ・ 近年の状況を分析し、オープンキャンパス等学生募集活動の改善を行う
- ・ 高等教育無償化等利用可能な奨学金が活用できるよう支援する
- ・ 学福連携による新たな奨学金を高等学校へ周知し活用を勧める

## (8) 財務

|    | 評価項目                      | 評点  |
|----|---------------------------|-----|
| 45 | 中・長期的に学校の財務は、安定していると言えるか  | 2.2 |
| 46 | 予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか | 2.5 |
| 47 | 財務について、会計監査が適正に行われているか    | 3.2 |
| 48 | 財務情報公開の体制整備はできているか        | 3.3 |

### ① 課題

- ・ 近年学生確保が難しい状況になっているため、財政収支がマイナスの状態である

## ② 改善方法

- ・ 学生の確保に努める
- ・ 財務状況の改善について、教職員一人ひとりが意識をもって取り組めるよう情報共有を図る

## (9) 法令等の遵守

| 評価項目 |                               | 評点  |
|------|-------------------------------|-----|
| 49   | 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 3.5 |
| 50   | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 3.2 |
| 51   | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 3.0 |
| 52   | 自己評価結果を公開しているか                | 3.3 |

## ① 課題

- ・ SNS に関する学生指導が行われていない

## ① 改善方法

- ・ 法令遵守に対する意識付けを組織全体で行う

## (10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 |                                 | 評点       |
|------|---------------------------------|----------|
| 53   | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3.8(3.1) |
| 54   | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか          | 3.8(3.3) |
| 55   | 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか | 3.2(3.3) |

## ① 課題

- ・ 地域に根差したボランティア活動が少しずつ進んできたが、学生の積極的な企画による活動にはなっていない
- ・ 近隣のしょうちゅう

## ② 改善方法

- ・ 教職員及び学生に対して周知を徹底する
- ・ 法人内での連携を図り、組織の活動として推進を図る